

2018年度事業計画

(単位:千円)

助成区分	事業内容	2018年度 予 算	2017年度 予 算
(1) 児童・少年の 健全育成助成、 委託研究	<物品助成> 元気っこ活動(地域の人々の協力のもとに、 子どもたち自身が主人公となって行う、 自然体験・生活体験活動、仲間づくりや 文化の伝承活動、子育て支援活動等)を 実践している民間の団体・グループに対する助 成	122,900	125,010
	<委託研究> 「実践的研究助成(公募形態)」の開始に向け、 先行的に委託研究を実施	11,000	7,000
		133,900	132,010
(2) 高齢社会助成、 委託研究	(地域福祉チャレンジ活動助成) 「共に生きる地域コミュニティ」づくりへ向けて、 地域包括ケアシステムの展開、そして深化に つながる活動を行う団体への助成	25,000	25,000
	(実践的課題研究・若手実践的課題研究助成) 「共に生きる地域コミュニティ」づくりへ向けて、 助成対象分野・テーマに対する課題を明確に した実践的課題研究への助成および助成 対象者を若手研究者に限定した研究への助成		
	高齢者が積極的に主導する多世代参加型の 活動に対する「生き生きシニア活動顕彰」	11,100	10,400
	<40周年記念 特別委託研究> 地域包括ケアの更なる推進にむけた委託研究	6,000	6,000
		42,100	41,400
(3) 環境問題研究助成	(学際的総合研究) 募集課題 「人間活動と環境保全との調和に関する研究— 一人と自然が共生する持続可能な地域づくり、 自然災害と環境保全—」 に対応する研究への助成	40,000	40,000
	(若手研究・奨励研究) 「人間性豊かな生活環境の確立」に役立つ 着想豊かな研究への助成		

助成区分	事業内容	2018年度 予 算	2017年度 予 算		
(4) 出版助成	(環境問題研究助成成果発表出版) 学際的総合研究・個別研究助成等の 成果発表出版物に対する助成	7,180	10,500		
	(博物館展示案内出版) 博物館展示案内等の刊行に対する助成				
	(学術書出版) 「児童・少年の健全育成」「高齢社会」「環境問題」 に関する学術的専門書の出版に対する助成				
	<40周年記念出版(環境・高齢・児童)> 環境問題研究助成 40周年記念出版 (2019年出版予定)	3,000	-		
(5)シンポジウム ・ワークショップ	(高齢社会) シンポジウム「高齢社会を共に生きる」ならびに ワークショップを開催	11,500	10,500		
	(環境問題研究) 2016・2017年度助成の学際的総合研究助成の 成果発表および討議の場としてワークショップを 開催				
	<40周年記念事業> 環境問題研究助成に関する40周年記念 シンポジウムに関する事前支出	1,200	-		
合 計		238,880	234,410		

2018年度収支予算書（正味財産増減方式）

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	130,750,000	132,150,000	△ 1,400,000
基本財産受取利息	130,750,000	132,150,000	△ 1,400,000
特定資産運用益	12,050,000	12,910,000	△ 860,000
助成準備基金等受取利息	12,050,000	12,910,000	△ 860,000
受取寄付金	162,000,000	162,000,000	0
雑収益	0	1,300,000	△ 1,300,000
経常収益計	304,800,000	308,360,000	△ 3,560,000
(2) 経常費用			
事業費	357,318,250	334,877,000	22,441,250
助成金・委託金	226,180,000	223,910,000	2,270,000
シンポジウム経費	12,700,000	10,500,000	2,200,000
役員報酬	14,850,000	8,280,000	6,570,000
給料手当	31,915,000	32,415,000	△ 500,000
役員退職給付費用	1,305,000	675,000	630,000
職員退職給付費用	877,100	1,585,000	△ 707,900
福利厚生費	7,450,000	6,780,000	670,000
通勤交通費	1,540,000	1,500,000	40,000
渉外応接費	100,000	100,000	0
消耗什器備品・消耗品費	2,550,000	1,998,000	552,000
減価償却費	101,150	109,000	△ 7,850
光熱水料費	4,760,000	4,675,000	85,000
賃借料	13,090,000	13,090,000	0
助成関係費	21,500,000	20,420,000	1,080,000
企画調査費	3,200,000	3,440,000	△ 240,000
その他事業費	15,200,000	5,400,000	9,800,000
管理費	23,732,750	22,870,000	862,750
役員報酬等	4,750,000	3,820,000	930,000
給料手当	5,985,000	5,985,000	0
役員退職給付費用	145,000	75,000	70,000
職員退職給付費用	144,900	294,000	△ 149,100
福利厚生費	1,050,000	1,020,000	30,000
通勤交通費	200,000	240,000	△ 40,000
会議費	3,700,000	3,420,000	280,000
渉外応接費	600,000	800,000	△ 200,000
通信運搬費	500,000	500,000	0
消耗什器備品・消耗品費	450,000	352,000	98,000
減価償却費	17,850	19,000	△ 1,150
印刷製本費	40,000	10,000	30,000
光熱水料費	840,000	825,000	15,000
賃借料	2,310,000	2,310,000	0
雑費	3,000,000	3,200,000	△ 200,000
経常費用計	381,051,000	357,747,000	23,304,000
評価損等調整前当期経常増減額	△ 76,251,000	△ 49,387,000	△ 26,864,000
特定資産評価損益等	0	0	0
当期経常増減額	△ 76,251,000	△ 49,387,000	△ 26,864,000

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
2. 経常外増減の部			
（1）経常外収益	0	0	0
（2）経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 76,251,000	△ 49,387,000	△ 26,864,000
一般正味財産期首残高	1,412,396,000	1,460,166,000	△ 47,770,000
一般正味財産期末残高	1,336,145,000	1,410,779,000	△ 74,634,000
II. 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	9,996,756,000	10,000,000,000	△ 3,244,000
指定正味財産期末残高	9,996,756,000	10,000,000,000	△ 3,244,000
III. 正味財産期末残高	11,332,901,000	11,410,779,000	△ 77,878,000

*受取寄付金は、日本生命保険相互会社の決算確定後(2018年7月)に寄附依頼予定